# 城北サポーターズによる肢体不自由特別支援学校における

# 総合的な放課後対策推進のための調査研究の事業　報告書

＊肢体不自由特別支援学校における子供たちの放課後活動のあり方、条件整備を進めるにあたり、予算を活用した視点から報告する。

内容の充実するために以下の３つの視点で予算を活用した。

１　活動の内容を検討・充実するために外部の専門指導者を導入する
２　無理なく簡単に活用できるよう遊具等を充実させる
３　医療行為を必要とする児童・生徒が活動に参加できる条件として看護師を導入する

１　活動の内容を検討・充実するための「外部の専門指導者を導入」について

（1）　囲碁・オセロ講師の導入

囲碁・将棋・オセロは障害の有る無しに関わらず、本人の認識、本人の状況に合わせて工夫して参加できる。見た目は文化活動的であるが、実際には頭脳格闘技とも言える。対戦相手と楽しく活動しながらも、競い合いのできる競技である。実際にこれらの世界では、障害のある方々もプロとして大活躍されている。

城北特別支援学校の児童・生徒は、毎年、東京都特別支援学校綜合文化祭　囲碁・オセロ・将棋大会に参加している。放課後活動で囲碁・将棋・オセロ活動を取り入れたことで、友達と一緒に練習できる場にもなっていたようである。月に１度であっても、継続的に活動できることは、彼らの目標に向かって練習することの、楽しさと大切さを学ぶことができる場でもあった。大会には家庭の都合で参加できない児童・生徒も参加する事ができ、友達と共に、授業以外の活動を楽しめる場となっていた。オセロ自体は、一見簡単で誰にでもできそうだが奥が深く、スキルアップするにはやはり専門の指導が有効である。また、彼らが日常生活でかかわれるのは、家族・親戚・学校の友達・先生、病院やリハリビで関わる人たちである。塾や教室に通っている児童・生徒は本当に限られている。彼らにとって、大きな課題である人間関係を拡大するという面でも、外部の専門家から何かを学ぶことは、対人関係(特に礼儀作法・言葉使いといった面)を育てることにおいても重要な機会となっていた。これは、もちろん主目的ではないが、副次的に得られる、彼らにこそ必要な社会性の学習の場にもなっていた。

（

（２）音楽指導者の導入

音楽は多くの子供たちが大好きな活動である。専門家が専門性をもって、子供たちに合わせて活動を考えてくれ、子供たちが楽しんでいる様子には、授業では見られないまた別の笑顔や、集中する姿があった。

また、伴奏をしたり、音楽を活動として組み立てることは、全くの素人では、結構敷居が高いものである。しかし、専門家が入り、全体をリードしてくれることで、支援者自身も子供と一緒に活動楽しむことができ、また、自分たちでもできそうな活動を学び取ることができた。

（３）トランポリン指導者の導入

トランポリンは、自分から自由に体を動かすことのできにくい子供たちにとって、大小・上下・左右等様々な揺れを感じたり、微妙なバランスを取ったり、体に直接アプローチできる活動である。しかし、いかんせん、我々城北サポーターズのメンバーは、スポーツの達人でもなければ、ズバリ高齢の者が多い。足場が定まらず揺れ動くトランポリンへの乗せ降ろしや活動は、介助者にとっても危険である。

また、トランポリン自体、首が座っていなかったり、咄嗟に手が出せない子供たち、介助をする側・される側両方の腰への負担を考えると、安易に素人が行なうには危険が伴う活動であり、事故の起こる可能性も高い。

そういった面でも、専門家に、しかるべき組織を通して仕事として指導を依頼するのが、お互いにとって安心して活動できると考える。

しかし、あえてトランポリンを取り入れたのは、放課後活動の内容に強い希望を出さない保護者の中で、唯一希望があるのが、トランポリンであったからである。

やってあげたくても、サポーターズだけでは実施困難な活動といった面で、専門家の導入は、試行として大きな意義があった。

２．無理なく簡単に活用できるよう遊具等を充実させる

（１）素人の方々でも気軽に使えるものを　スカイバルーン・指人形・カラオケセット

放課後わくわくクラブで重度の児童・生徒は基本的には少しは離れた「足立区立生物園」に出かけた。道中歩いていると、車いすを押しているサポーターズの友達や知り合いと出会い、「何やっているの？」「子供たちと遊んでいるの！」そういった会話の間に子供たちがいる。「こんにちは」とあいさつをして知り合いになれる。地元サポーターズは子供たちと学校近隣の方たちとの橋渡しになっている。

しかし、体温調整が難しい子供たちであるため、雨天以外にも、暑すぎたり、寒い日には外に出かけられず、体育館や室内での活動になる。体の状態により、介助の方法が異なり、危険も伴うという不安もあり、動的活動よりは、動きが少なく、受身的な活動の方が安全である。また、月に１回の活動であることもあり、継続性の必要な活動よりは、一回一回が完結しつつ、経験としては積みかねられる内容のほうが子供たちにもわかりやすい。

指人形は誰でも簡単にできて、じっくり、直接的な関わりを好む子供が多いグループには大変有効であった。カラオケセットは、音楽が大好きな子供たちが、自分の声が聞こえてくることにも気づき、より大きな声を出したり、サポーターズと一緒に歌って楽しんでいた。

スカイバルーンはサポーターズでも簡単に動かすことができ、子供たちも受身的ではあるが、動的な感覚も楽しめる活動であった。子供たちはバルーンの風を感じたり、ドームを体験したり、視覚的にも感覚的にも楽しむことができていた。しかし、大きさも活動参加人数によって変わるので、２種類用意する事とした。

サポーターズは教員ではないので「何かをやらせよう」という気持ちが無い分子供たちも、安心して一緒に遊べるようである。そういった関係ができていく中で、徐々にお互いのことが分かりあえて、より親しさが深まってきた。

一方、子供たちの遊び方はダイナミックである。気に入ったものは掴んで放さなかったり、噛んだりする。唾液も出てくる。遊具も消耗が激しい。遊具は、学校にもあるので、借りられないことは無いが、事前に手続きが必要であったり、急遽子供の欠席等があり、予定の活動ができなかったりするため、ある程度、活動母体として自由に使える物品は必要であった。物品は学校内に確保されているサポーターズ室に保管できる。

（２）サポーターズの看板活動を！

城北サポーターズが発足し、具体的に活動を始めてから３年が経とうとしている。何も解らず、戸惑いながらも、子供たちの笑顔を支えに、子供たちのためにという気持ちで続いてきたというのが本音かもしれない。　少しずつ子供たち、保護者、教員

の中にその存在が浸透していく中で、「サポーターズ(緑のＴシャツやゼッケンの人)が来たら〇〇が楽しめる」といったトレードマーク的な活動は無いだろうかという意見がでてきた。

昨年度、放課後わくわくクラブで、他の団体が綿アメを作っているところに飛び入り参加したことがあった。子供はとても嬉しそうで、サポーターズ達自身も楽しく活動できたということがあった。

子供たちは食べることが大好きであるが、誤嚥事故が懸念されたり、口から食べることができない子供たちも大勢いる。しかし、綿アメならその子供たちも楽しむことができる。また、装置によっては移動させやすく、子供の活動の高さに合わせられるため、作ることも体験できる。この活動なら、どんな子供たちも、大人も一緒に楽しめると考え、看板活動を「綿アメ」にした。９月の流しそうめん会、文化祭で綿アメコーナーを実施した。どちらも大人気で開店から終了時まで列が途絶えることがなく、またやって欲しいと期待する声が子供からも保護者からも上がった。教員からも好評であった。

２　医療行為を必要とする児童・生徒が活動に参加できるための看護師の導入について

肢体不自由学校には、医療行為の必要な児童・生徒も在籍している。医療行為といっても実に幅が広い。放課後活動に参加するにあたり必要な医療行為は、常時ケアを必要とする「吸引」である。医療行為は学校内では、看護師と研修を受けた教員にしかできない。学校外活動である放課後活動には、看護師も教員もかかわることはできない。よって、放課後活動時間中は専属の看護師がいない限り、医療行為を必要とする児童・生徒が保護者無しで参加する事はできないということである。しかし、医療行為を必要とする子供の保護者こそ、少しでも子供から離れて息抜きをしたり、自由な時間を必要とするのだということを我々は傍で見ていて感じている。また、必然的に、子供たちは親離れできず、親も子離れできない。

看護師も、万が一事故が起こったことを想定すると、職務として、事故補償が有る条件でないと、参加はできない。肢体不自由の子供達の放課後活動の保証を考える中で、医療行為ができる看護師の確保は必然的である。

また、医療行為を必要とする子供の保護者役員は、ＰＴＡ活動の準備や活動が始まると分担仕事を果たさねばならないという思いと、現実には常に子供を傍に居させながら仕事をこなさなくてはならない大変さがあった。また、トイレの間も目を離せない、誰にも子供を託せ無いという大変さから、医療行為を必要とする子供たちの催し者への参加数自体が少なかった。

今年度最後の城北倶楽部(土曜日活動)で３名の看護師を依頼した。おかげで、役員は

もとより、役員以外の参加者も５家族あった。看護師は顔色の微妙な変化にもすぐに気づき、適切な対応や処置をしてくれるので、保護者は安心して活動に専念でき、精神的にも身体的にも楽であったという感想が寄せられた。子供も親から離れて活動する事ができたことは貴重な体験でもあったと思われる。

今年度本事業を進めるなかで、実際に看護師を導入できたのは、最後の１回だけである。それは、放課後活動の参加者は年度の始めに募集をかけた。しかしその時点でモデル事業の決定が無かったため、医療行為の必要な児童・生徒の募集は大っぴらにできなかったこと、看護師を確保するにも、事前の予約が必要なため、予算が確実に使えると決まった６月では、PTA が予定していた、９月・１０月の活動には間にあわなかったからである。今後我々のように資金の無い団体が活動をする場合の、事業実施可能時期の決定通知日や経費の支払い等検討をする必要がるのではないか。

## ４　最後に

障害のあるなしに関わらず子供たちにとって、少しでも多くの時間でも遊べる場があることは望ましい。しかし、車いすで使いやすい施設設備が必要であったり、意思の疎通が困難であったり、身体介助を必要としたり、医療行為が必要である重度の肢体不自由障害のある子供たちのための安定した放課後活動の場は全国的に見てもほとんど無いといっても過言ではない。

また、ボランティアをする気持ちはあっても、実際には介助の難しさという課題が出てくる。これらが原因で指導者や支援者が少なく、家族や教員に限定されているとも言える。しかし、我々城北サポーターズは素人の地域の住民である。我々が参画し実施できたということは、どの学校、地域でもできるということが証明できたと考える。よって、この報告書を参考にしていただき、是非とも、これまで手が入れられてこなかった肢体不自由の子供たちの活動の場や方法を、全都、全国に広げていただきたい。

城北わくわくクラブにおける児童・生徒の参加実績

全４１回　　児童・生徒　　２４３名

＊活動内容　　囲碁・将棋・オセロ・校外散歩・体育館活動(トランポリン含む)・音楽活動

＊活動参加人数

| 回数 | 活動日 | 曜日 | オセロ | 散策 | 体育館 | 音楽 | 参加延べ人数 | 回数 | 活動日 | 曜日 | オセロ | 散策 | 体育館 | 音楽 | 参加延べ人数 | 回数 | 活動日 | 曜日 | オセロ | 散策 | 体育館 | 音楽 | 参加延べ人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5月20日 | 水 | 5 | | | | 5 | 13 | 9月11日 | 金 | | 4 | | | 4 | 30 | 1月15日 | 金 | | | | 5 | 5 |
| 2 | 5月22日 | 金 | | 2 | | | 2 | 14 | 9月16日 | 水 | | 5 | | | 5 | 31 | 1月20日 | 水 | | | 5 | | 5 |
| 3 | 5月29日 | 金 | | 2 | | | 2 | 15 | 9月18日 | 金 | | 3 | | | 3 | 32 | 1月27日 | 水 | 6 | | 6 | | 12 |
| 4 | 6月3日 | 水 | 8 | 5 | | | 13 | 16 | 9月30日 | 水 | 6 | 7 | | | 13 | 33 | 1月29日 | 金 | | | 4 | | 4 |
| 5 | 6月10日 | 水 | | 5 | | | 5 | 17 | 10月7日 | 水 | | 5 | | | 5 | 34 | 2月3日 | 水 | | | 7 | | 7 |
| 6 | 6月12日 | 金 | | 2 | | | 2 | 18 | 10月9日 | 金 | | 4 | | | 4 | 35 | 2月5日 | 金 | | | 5 | | 5 |
| 7 | 6月17日 | 水 | 9 | 6 | | | 15 | 19 | 10月16日 | 金 | | 3 | | | 3 | 36 | 2月12日 | 金 | | | 3 | | 3 |
| 8 | 6月19日 | 金 | | 3 | | | 3 | 20 | 10月21日 | 水 | 6 | 6 | | | 12 | 37 | 2月24日 | 水 | | | | | 0 |
| 9 | 6月26日 | 金 | | 2 | | | 2 | 21 | 10月30日 | 金 | | 5 | | | 5 | 38 | 3月3日 | 水 | | | 9 | | 9 |
| 10 | 7月1日 | 水 | 5 | | | | 5 | 22 | 11月13日 | 金 | | 3 | | | 3 | 39 | 3月5日 | 金 | | | 7 | | 7 |
| 11 | 7月8日 | 水 | 7 | 6 | | | 13 | 23 | 11月18日 | 水 | | | | 5 | 5 | 40 | 3月10日 | 水 | | | | 9 | 9 |
| 12 | 7月10日 | 金 | | 2 | | | 2 | 24 | 11月20日 | 金 | | 3 | | | 3 | 41 | 3月12日 | 金 | | 3 | | | 3 |
| | | | | | | | | 25 | 11月25日 | 水 | 6 | 6 | | | 12 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 26 | 12月9日 | 水 | | 5 | | | 5 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 27 | 12月11日 | 金 | | 4 | | | 4 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 28 | 12月16日 | 水 | 7 | 5 | | | 12 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 29 | 12月18日 | 金 | | | | 7 | 7 | | | | | | | | 69 |
| | | | | | | | 69 | | | | | | | | 105 | | | | | | | 延べ参加人数 | 243 |